

公立大学法人青森県立保健大学
令和 7 年度 業務実績評価書 【案】

令和 8 年 8 月

青森県地方独立行政法人評価委員会

目 次

第一 評価の基本的な考え方	1
第二 評価の結果	3
1 全体評価	
(1) 総評	3
(2) 業務の実施状況	4
(3) 組織、業務運営等に係る改善事項等	4
2 項目別評価	
(1) 教育に関する目標を達成するための措置	5
(2) 研究に関する目標を達成するための措置	6
(3) 地域貢献及び国際交流に関する目標を達成するための措置	7
(4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	8
(5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	9
(6) 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに 当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	10
(7) その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	11

第一 評価の基本的な考え方

青森県地方独立行政法人評価委員会は、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（令和５年法律第５８号）附則第３条第３項の規定に基づき、公立大学法人青森県立保健大学（以下「青森県立保健大学」という。）の令和７年度における業務の実績について、以下の基本的な考え方により評価を行った。

評価の実施に当たっては、青森県立保健大学の年度計画に定めた事項ごとにその実績等を明らかにした業務実績報告書及び法人への聴取等に基づき調査・分析を行い、その結果を踏まえて「項目別評価」及び「全体評価」を行う。

１ 項目別評価

中期計画に掲げる次の事項ごとに、中期計画の達成に向けた業務の進捗状況及び特筆すべき事項の内容を総合的に勘案して、５段階で評価する。
なお、教育研究については、その特性に配慮し、専門的な観点からの評価は行わず、外形的な進捗状況を評価する。

- （１）教育に関する目標を達成するための措置
- （２）研究に関する目標を達成するための措置
- （３）地域貢献及び国際交流に関する目標を達成するための措置
- （４）業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置
- （５）財務内容の改善に関する目標を達成するための措置
- （６）教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置
- （７）その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

〔５段階〕

- ５：中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
- ４：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
- ３：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。
- ２：中期計画の達成のためには進捗がやや遅れている。
- １：中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

２ 全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、令和７年度における業務実績の全体について、記述式により総合的に評価する。また、必要がある場合は、業務運営の改善その他の勧告をする。

青森県地方独立行政法人評価委員会委員及び専門委員

区 分	氏 名	役 職 等
委員長	高 瀬 雅 弘	国立大学法人弘前大学 副学長・理事（教育担当）
委員	蝦 名 晶 子	ディーシーティーデザイン 代表
委員	伊 藤 孝 哉	税理士法人トータルサポート青森 公認会計士・税理士
委員	香 取 真 理	青森公立大学経営経済学部 教授
委員	竹 本 太 郎	日本政策金融公庫 青森支店 農林水産事業 事業統轄
専門委員（大学関係）	舘 田 有佳子	公益社団法人青森県看護協会 副会長

第二 評価の結果

1 全体評価

(1) 総評

年度計画に定めた項目は着実に実施されており、計画どおり達成されたものと判断される。なお、主な評価内容は次のとおりである。

- ① 入学者選抜方法の改革や、在学中だけに留まらないキャリア形成支援の働きかけと採用機関等に対する定着のための調整のほか、県内定着を見据えた高校生・在学生・卒業生・社会人に向けた取組が実施されている。
- ② ヘルスプロモーション戦略研究センターを核とした学内の研究ネットワークの構築と研究支援の充実が図られている。
- ③ 専門職向け研修会等の実施により、県内の保健医療福祉人材への継続教育に寄与している
- ④ 組織のマネジメント体制について一層の強化を図っており、内部管理体制が適正に整備・運用され、それぞれの実効性が確保されている。
- ⑤ 外部資金の獲得に関して、科学研究費助成事業（科研費）の新規課題の採択率（令和8年度分）が向上した。
- ⑥ 広報について、学生・教職員による協働体制を確立した活動を展開し、SNSの活用を推進している。
- ⑦ 危機管理、情報管理、ハラスメント防止等について、研修や体制整備等が継続的に行われている。

(2) 業務の実施状況

業務の実施状況は、全体として年度計画に定めた事項は着実に実施されている。

＜評価結果の概要＞	特筆すべき 5	順調 4	おおむね 順調 3	やや遅れ 2	著しく遅れ 1
(1)教育に関する目標を達成するための措置		○			
(2)研究に関する目標を達成するための措置		○			
(3)地域貢献及び国際交流に関する目標を達成するための措置		○			
(4)業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置		○			
(5)財務内容の改善に関する目標を達成するための措置		○			
(6)教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに 当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置		○			
(7)その他の業務運営に関する重要目標を達成するための措置		○			

(3) 組織、業務運営等に係る改善事項等

特に改善する事項はない。

2 項目別評価

(1)	教育に関する目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
-----	--------------------	----	--------------------------

<評価の理由>

年度計画の記載 42 項目中、8 項目が「年度計画を上回って実施している」、34 項目が「年度計画を十分に実施している」と認められたことに加え、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

- ① 大学院の教育・研究の魅力を積極的に広報しており、また、地域社会への研究成果の還元の意識付けを行い、研究活動の活性化がみられていることが評価できる。
- ② 入学者選抜方法の改革や、在学中だけに留まらないキャリア形成支援の働きかけと採用機関等に対する定着のための調整のほか、県内定着を見据えた高校生・在学生・卒業生・社会人に向けた取組を実施していることは高く評価できる。
- ③ 学士課程の教育について、計画に沿って着実に業務が遂行され、各専門職の国家試験で高い合格率を維持した。

<その他の意見>

- ① 大学院について、職業キャリアと研究との両立を図りながら確実に学位取得に至る教育課程となっているか、今後の動きを注視したい。
- ② 大学院の社会人入学者の確保に向け、入学希望者のみならず、医療機関等の施設管理者や部門管理者に対する積極的な情報発信を引き続き期待したい。

【各種国家試験合格率及び就職率（令和7年度）】

主な国家試験合格率

保健師：93.1%、看護師：99.1%、助産師：100.0%、理学療法士：100.0%、社会福祉士：92.0%、精神保健福祉士：100.0%、
管理栄養士：78.1%

卒業生就職率

学部全体：97.7%（県内就職率：35.3%）

(2)	研究に関する目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向けて 順調な進捗状況にある。
-----	--------------------	----	------------------------------

<評価の理由>

年度計画の記載5項目の全てが「年度計画を十分に実施している」と認められたことに加え、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

- ① ヘルスプロモーション戦略研究センターを核とした学内の研究ネットワークの構築と研究支援の充実が図られていることは高く評価できる。
- ② 研究実施体制の整備、外部資金獲得に向けた支援、研究成果の発信等、計画に沿って着実に取組が進められている。

(3)	地域貢献及び国際交流に関する目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
-----	----------------------------	----	--------------------------

<評価の理由>

年度計画の記載 12 項目のすべてが「年度計画を十分に実施している」と認められたことに加え、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

- ① 地域連携・地域貢献について、学生・教職員による地域でのボランティア活動の推進や、大学を拠点とした地域住民・地域団体の活動支援の取組が進められている。
- ② 専門職向け研修会等の実施により、県内の保健医療福祉人材への継続教育に寄与している点が評価できる。
- ③ 地域に必要な人財の輩出について、県内病院における看護職採用の実態把握とそれに基づくセミナーを開催するなど、工夫しながら取組を展開している点が評価できる。

<その他の意見>

- ① 地域定着枠(キャリア形成支援枠)に関して、定員を下回る志願状況となったことから、見直し・改善は喫緊の課題である。
- ② 今後、更なる施策の展開や情報発信などにより発展性が期待できるとともに、地域貢献の観点から保健大学の存在感が一層高まることが期待できる。

(4)	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
-----	------------------------------	----	--------------------------

＜評価の理由＞

年度計画の記載 10 項目のすべてが「年度計画を十分に実施している」と認められたことに加え、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

＜特に評価する事項＞

- ① 組織のマネジメント体制について一層の強化を図っており、内部管理体制が適正に整備・運用され、それぞれの実効性が確保されている。
- ② キャッシュレス決済の導入等、業務改善・情報化の推進に資する取組が進められている。

＜その他の意見＞

- ① 事務の効率化・経費節減に向けては、電子化に加えて AI の活用など、さらなる合理化に向けた取組を強力に推進していただきたい。

(5)	財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向けて 順調な進捗状況にある。
-----	-------------------------	----	------------------------------

＜評価の理由＞

年度計画の記載6項目の全てが「年度計画を十分に実施している」と認められたことに加え、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

＜特に評価する事項＞

① 外部資金の獲得に関して、科学研究費助成事業（科研費）の新規課題の採択率（令和8年度分）が向上したことは高く評価できる。

＜その他の意見＞

① 外部研究資金の獲得額の増加は、ヘルスプロモーション戦略研究センター等の研究活動の推進による成果であり、引き続き外部資金獲得に向けた取組の継続を期待する。

(6)	教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
-----	---	----	--------------------------

＜評価の理由＞

年度計画の記載6項目中、1項目が「年度計画を上回って実施している」、5項目が「年度計画を十分に実施している」と認められたことに加え、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

＜特に評価する事項＞

- ① PDCA サイクルに則った自己点検・自己評価のシステムが十分に機能している。
- ② 広報について、学生・教職員による協働体制を確立した活動を展開し、SNS の活用を推進している点が評価できる。
- ③ 教員の能力開発及び教育研究活動の質向上に向けて、教員評価制度の見直しを行い、効果的に運用されている点が評価できる。

(7)	その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
-----	---------------------------	----	--------------------------

＜評価の理由＞

年度計画の記載6項目の全てが「年度計画を十分に実施している」と認められたこと等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

＜特に評価する事項＞

- ① 施設の維持管理、安全管理（リスクマネジメント、情報セキュリティ）に関する措置について、迅速な対応体制の確立、情報システムの更新や管理・運用体制の適正化が図られている。
- ② 危機管理、情報管理、ハラスメント防止等について、研修や体制整備等が継続的に行われている点が評価できる。

＜その他の意見＞

- ① リスクマネジメントや情報セキュリティに関しては、日々対応すべき内容がアップデートされていることから、柔軟かつ迅速な実施体制と運用を期待する。